

※文字の大きさは Meiryo UI / 12 ポイント以上とし、上下左右の余白は変更しないでください。
※各項目の枠の幅は変更可能ですが、必ず A 3 用紙片面におさまるように作成してください。
※画像、写真、イラスト等は、用紙の中におさまるようにし、ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

【様式 2】

研修成果の活用レポート/NITS 大賞エントリーシート ※研修成果の活用レポートは、NITS 大賞エントリーシートと同様式です。NITS 大賞に応募される方は、推薦者への提出とは別に、<award@ml.nits.go.jp>宛て、メールにてお送りください。なお、メール送信後、3 日以上受領メールが届かない場合はご連絡ください。	※事務局記入欄 受理No. : A-32
【学校名・氏名】鳥取県湯梨浜町立泊小学校・濱家 功	【応募部門】カリキュラム・マネジメント実践部門
【修了研修名】記載例：平成30年 第6回 中堅教員研修	
【活動名】年間指導計画の再編成～新たな視点での総合的な学習改革～	
解決すべき課題：※活動を行う前に、どんな課題設定をしましたか？ - 本校の総合的な学習の時間は、体験的な活動を中心に年間を通した計画が立てられている。しかし、毎年同じような体験活動の繰り返しが多いと感じていた。児童が新たに課題に気づいたり、新たな問いから学習を組み立てたりする経験もありできていない。各学年単学級であり、経験が少ない若い教師の場合どのように授業を進めたらよいのか困っている実態がある。 - これらの要因の一つとして、教師自身が「総合的な学習の時間でどんな力を子どもたちにつけるのか」明確に意識できていないことがあげられる。体験や活動ありきではなく、どのような力をつけたいからこの活動をするという学習構想の再編成が必要であった。 - 中央研修で視聴及び協議を行ったNHK教育テレビの番組とワークシートを活用し、総合的な学習の目指す力について、教員みんなで理解したいと考えた。	
目標・方針：※課題を解決するためにどんな目標や計画、戦略や方針をたてましたか？ （1）少人数での話し合い ・今までの取り組みや困っていることを出しやすいように、学年ごとの話し合いとする。 ・先輩教師からは今までの取り組みを伝え、若手教師からは願いや困っていることを話す場をつくる。 （2）ビデオ教材の視聴 ・他校の取り組みを映像で見ることで、総合的な学習の進め方のイメージを持つ。自分たちの取り組みと比較し、何が違うのか協議する。 （3）年間指導計画の編成 ・本校の課題を明確にした後に、次年度の年間指導計画を編成する。また、その学年にふさわしい探求課題と3つの資質・能力を設定する。 （4）TTでの実践 ・前年度に作成した年間指導計画に沿って、先輩教師が総合的な学習の時間の授業に入り、全体計画の立て方、児童からの疑問の出し方、テーマの決定手順など、具体的な活動をともにつくっていく。	
活動内容：※何を行ったか、具体的に記載してください。 （1）職員会での提案、紹介 ・職員研修の場で、総合的な学習の時間の課題と年間指導計画編成のスケジュールを提示 ・NHK 教材「ドスルコスル」の紹介 （2）学年ごとの協議 ・現在取り組んでいる総合的な学習の時間の内容や、指導に当たっての願いや悩みを担任と話し合った。 ・NHK ビデオ教材の視聴。中央研修で使用したワークシートを見ながら、育成を目指す資質・能力（知識及び技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間力等）のどの項目が、ビデオ教材の授業のどの場面で教師がつけようとしていたか確認した。	

- 協議の中では、ビデオで見た他校の取り組みと比較しながら目指す力をどのように育成するか協議することができた。
- （3）年間指導計画の編成・探求課題の設定
- 地域の特色や、児童の実態を基に、学年ごとの探求課題を設定した。
- 探求課題の解決を通して育成を目指す具体的な3つの資質・能力を学年ごとに設定した
- （4）次年度の実践



・教務がTTとして総合的な学習の時間に入り、前年度に作成した年間指導計画に沿って学習を展開した。それぞれの資質・能力をどの学習活動でつけていくのか、事前に相談し評価も行っている。

<取り組み例（3年生）>

昨年度 時期ごとに決まった活動の実践 5～9月 梨づくり体験 7～11月 地域発祥のスポーツ調べ 12月 ワカメの栽培体験 1～3月 地域の自慢まとめ - 随時 パソコンスキルの習得 児童は体験を通じて達成感を持っているが、どの活動も教師から示されたものである。	今年度 児童の課題に基づく学習展開 4～6月 地域の自慢集め 7～8月 話し合いによる集約化 9～12月 見学や地域の方の話による新たな課題設定 1～3月 自分たちが考えた活動の実践 すべての活動が児童の課題から出たものであり、その過程で話し合いの仕方やまとめ方も学んでいる。
---	--

活動の成果：※それによって、どんな成果が得られましたか？

- ビデオ教材を視聴することで、教師自身があらためて探求課題の構想や学習の進め方のイメージを持つことができた。
- 新しい3つの資質・能力を確認し、複数の教員で具体的な項目を話し合い、次年度の年間指導計画を作成することができた。



アピールポイント（アイディアや工夫）：

- 教務主任がTTとして参加することで、今までの経験を伝えることができるだけでなく、一緒に考えた授業構想を軌道修正しながら取り組むことができた。
- 総合的な学習の具体的な授業イメージが「映像による理解、計画、実践」で結びついた。特に若い教師にとっては、教科書がない総合的な学習の時間の学習展開について不安を持っていることが多い。先輩教師とペアになり年間を通した学習展開をともにすることは、大変有意義であると思う。